

## 熊本天使園前に信号機設置

2月1日、熊本天使園前の交差点に信号機が設置されました。この交差点は小・中学生の登下校時間に車両の通行が多いところですが、信号機の設置により子どもたちが安心して安全に道路を横断することができるようになりました。

ドライバーの皆さんは、ゆとりと余裕を持って、安全運転を心がけましょう。また、歩行者や自転車も「止まる」「見る」を励行し、交通事故に遭わないように注意しましょう。



▲安全に交差点を横断する児童たち

## 100歳おめでとうございます

平成23年2月に満100歳を迎えられた人に、市長からお祝いのメッセージと祝金が贈られました。

●100歳到達者

池田 静子さん

(明治44年2月8日生)



池田さん

## 市長と話そう!子ども会議

2月9日、西合志庁舎で市内3中学校の生徒代表が市長や教育長と意見を交わす、子ども会議を開催しました。

昨年までは議会形式で実施されていたものをフリートーク方式に変え、各中学校からの4~5人の生徒代表により、自由な意見交換が行なわれました。

生徒たちからは「子どもたちの遊び場の確保」や、「市の代名詞となるような魅力づくり」など、さまざまな意見が飛び出しました。緊張した面持ちの生徒たちでしたが、市長の回答に真剣に耳を傾けていました。

また、市長と教育長からの質問に対しては、学校生活の様子などをきはきと答えていました。



▲子ども会議に参加した生徒たち

## 子どもフェスティバル開催

2月6日、ヴィーブル全館で「合志市子どもフェスティバル」が開催され、約1,700人の子どもたちが集まり、科学実験やおばけ屋敷、スポーツの体験コーナーや子ども劇団公演などを楽しみました。

子どもフェスティバルは、市内の小・中学生から募集した実行委員が、内容や実施方法などを考え、準備から当日の運営まで大人の協力を得ながら開催するイベントです。



▲企画・運営までがんばった子ども実行委員の皆さん

手作りのイベントを楽しみ、多くの子どもたちが「とても楽しかった」「また来たい」と感想を述べていました。

## 華麗な演技で全国大会へ

2月12・13日、鹿児島市で第36回パトントワリング選手権九州大会が行なわれ、文徳高校1年(合志南小学校出身)の本田捺実さん(群)と西合志南中学校1年の岩崎夏帆さん(堀川)が出場しました。

それぞれ華麗な演技を披露し、本田さんはソロトワール高等学校部門で10位入賞、岩崎さんはペア中学校部門で5位に入賞しました。これにより、岩崎さんは3月25~27日に名古屋市で開催される全日本大会に出場します。



▲笑顔の本田さん(写真左)と岩崎さん(写真右から2人目)

大舞台での岩崎さんの活躍が期待されます。



▲ペアで出場する岩崎さん(写真右)

## 生まれた日に思いをはせて

2月17日、西合志中学校で昔の「元服」にあたる立志式が行なわれ、2年生の生徒たちが参加しました。

大人の仲間入りが近づいている自覚を持ち、将来の夢や職業について考える機会となることを目的に、講演会などが開催されました。

生徒たちは「20歳の自分へ宛てた手紙」を書き、20歳の年に郵送されるよう学校の金庫に大切に保管しました。また、熊本日日新聞社の協力で生徒一人ひとりが生まれた日の新聞が配られ、生徒たちは興味深そうに目を通して



▲自分が生まれた日の新聞を初めて目にする生徒たち

## どんどやで無病息災を祈願

1月16日、合志小跡グラウンドで3年ぶりにどんどやが実施されました。これはPTAの主催で行なわれ、児童や保護者、教職員のほかに地域の人も集まり、約150人の参加がありました。

当日はたいへんな寒さでしたが、参加者は炎がおさまった残り火で餅を焼き、おいしそうに食べながら交流を楽しんでいました。



▲勢いよく燃えるどんどやの炎

## エコジュニアは元気いっぱい

1月22日、竹迫みのり保育園で親子クッキングとマラソン大会が開催され、園児たちは自分たちで収穫したからいもを使い、保護者といきなり団子を作りました。



▲お父さんと一緒に団子づくり

このからいもは、熊本県からの委託事業である循環型社会啓発推進事業(通称エコジュニア事業)により、台所の野菜くずにEMほかし菌を混ぜてとれた液肥を、園児たちが苗にかけて育てて収穫したものです。

親子で楽しく団子を作った後、園児たちは元気にマラソンに参加。会食では、いきなり団子入りのみそ汁を食べて、からいもを味わっていました。

## 合志市の魅力を全国へ ふるさと自慢うた自慢 公開録音

1月28日、ヴィーブルで開館15周年を記念して、NHK熊本放送局と本市および市教育委員会の主催による「ふるさと自慢うた自慢」の公開録音が行なわれました。

ステージは2部構成で、1部では地元出演者6人が男性チーム・女性チームに分かれてふるさと自慢と歌声を披露し、競い合いました。両チームは竹迫城や弁天山などの史跡や、マンゴーやかすみ草などの特産品を紹介し、本市の自慢をPRしました。

また、2部ではゲストの堀内孝雄さんと島津亜矢さんによるコンサートが開催され、来場者を魅了しました。コンサートの合間には、「ふるさとの星」と題して合志南小学校6年の清水智くんが登場。ちゃんかけゴマを巧みに操り、華麗な技を披露して会場を盛り上げました。

収録された番組は、NHKラジオ第1で全国に放送されます。放送予定日は、広報こうし4月号でお知らせします。



地元出演者がそれぞれ合志の自慢を紹介



(写真左から) 清水智くん(笹原)は難しい技を成功させ、兄の昇くん・妹の響子ちゃんとの兄妹技も披露しました

## 豊作を祈って葉たばこの種まき

1月30日、葉たばこの種まきが市内2カ所で行なわれました。

1mmにも満たない種を、合志地区ではふるった土と混ぜ合わせて、また、西合志地区では水に混ぜ合わせて、それぞれに均等になるようにまきました。

市内53戸のたばこ生産者は、たばこ税の値上げや禁煙が進む厳しい状況の中、豊作を願って丁寧に作業を行ないました。

この後、葉たばこの種は1週間ほどで発芽し、苗床で成長した後、3月20日ごろに畑に植え替えられます。



▲均等になるよう丁寧に手作業(合志地区)



▲種を混ぜた水を何往復もまきます(西合志地区)

## 早春の名物 竹迫初市

竹迫地区に約250年前から伝わる春の風物詩「竹迫初市」が、2月6日に合志庁舎前の駐車場で開催され、多くの人で賑わいました。

名物のあんもちだご汁や竹製品など



▲多くの来場者で賑わう初市会場

また、ひよつこ踊りや大道芸も披露され、例年より1カ月早い時期の開催でしたが、暖かな日差しの中、来場者は一足早く春の訪れを感じていました。